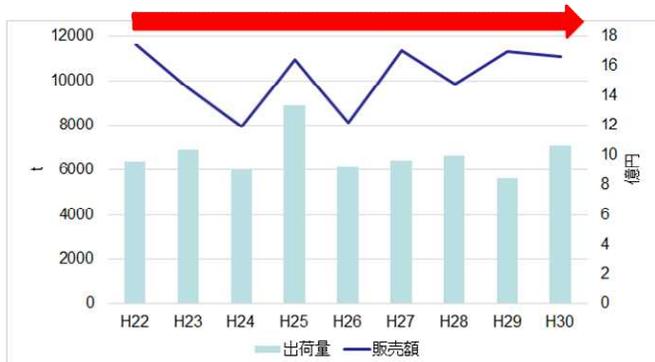


## ○ 取組の背景

- ・県内有数の果樹産地である静岡市清水地区は、畑地帯総合整備事業が進み240ha余りの平坦な柑橘園が生み出されている。
- ・出荷量・販売額は、年次での変動はあるものの、比較的安定しており大きな減少とはなっていない。
- ・栽培面積・生産者数は近年減少傾向である。  
⇒ **生産者の高齢化・減少により栽培面積が減少**



## ○ 課題・目標

- ・生産量・販売金額の維持
- ・個々の経営能力・面積の拡大



- ・拡大志向農家の育成
- ・省力化技術の導入

## 普及指導員の活動

### ○ 推進方向1 「拡大志向農家の育成」

- 担い手農家との意見交換会・・・大規模農家等の話し合いにより問題点・要望を抽出
- 重点支援経営体への支援・・・専門家派遣等による支援
- 経営講座の実施・・・拡大を志向する若手農家に対し、経営講座を開催し計画作成及び達成に向け支援

### ○ 推進方向2 「省力化技術の導入推進・検討」

- 半樹摘果栽培技術実証
  - ・着果を半面に制限する栽培方法による、収穫作業の省力化効果確認のため実証



### ■ スマート農業技術実証

- ・ドローン等スマート農業技術の導入検討のため、実証試験を実施



実証技術

ドローン、追従型運搬機

# 具体的な成果

## ○「拡大志向農家への支援」

■種々支援策により、拡大志向を持つ経営体を確認

活動内容	具体的な内容	対象経営体数	4カ年延べ指導回数
担い手農家との意見交換会	農地集積やスマート農業技術導入の検討	14	4
重点支援経営体への支援	専門家派遣による法人化支援等	4	68
経営講座の開催	現状分析、5カ年の経営計画・戦略策定の支援	7	22

規模拡大を志向する農家 ⇒ **9経営体**

## ○「省力化技術の導入推進・検討」

青島みかんの10a当たり作業時間(作物別原単位より)

作業名		作業時間
本 ぼ	せん定	16
	薬剤散布	23
	摘果	10
	施肥	7
	土壌管理	4
	中耕・除草	9
	防風樹管理	4
	計	73
収 穫	収穫	60
	貯蔵・出荷	24
	計	84
合計		157

薬剤散布、収穫・出荷にかかる時間が多い

■半樹摘果栽培技術導入により、収穫労力軽減が確認

	1樹当たり収穫時間(分)
半樹摘果区	58
対照区	86

作物別原単位で試算



	10a当たり収穫時間(時間)
半樹摘果導入(A)	41
慣行(B)	60
(B)-(A)	19

1樹当たり収穫時間が**32%減**

■ドローンの利用により、夏場の黒点病防除の軽減化を図れる可能性が判明

	10a当たり防除時間(h)
ドローン区	1
慣行防除区	3

作物別原単位で試算



	10a当たり防除時間(時間)
ドローン防除追加(A)	17
慣行(B)	23
(B)-(A)	6

※1回防除当たり

10a当たり防除時間が**67%減**

■1ha当たりで試算すると、23%程度の規模拡大が可能

	1ha当たり作業時間(時間)
半樹・ドローン導入(A)	1570
慣行(B)	1270
(B)-(A)	300



300時間を規模拡大に当てると、**1.23ha(1562時間)**に拡大可能